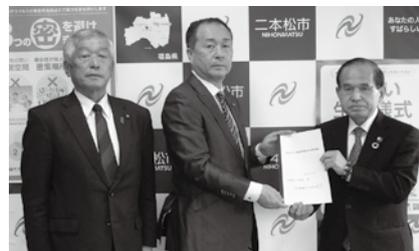


# ～二本松市議会災害対策会議～ 令和3年2月福島県沖地震に係る 緊急要望書を提出しました

二本松市議会では、2月26日、市に対して福島県沖地震に係る緊急要望書を提出しました。その全文を紹介します。

新型コロナウイルス感染症対策も含め、市民の皆さまの不安が解消されますよう、今後も引き続き、要望を重ねてまいります。

本多議長と堀籠副議長が三保市長へ要望書を手渡しました



## 令和3年2月福島県沖地震に係る緊急要望書

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源として発生した地震は、本市においても最大震度5強を記録し、この地震によって、道路や住宅、事業所・商業施設、学校教育施設・文化施設など、市内各方面に甚大な被害を及ぼしました。

これまでも市民の生活は、令和元年東日本台風による被災や新型コロナウイルス感染症への対応など幾重もの困難に見舞われており、さらに今般の地震による市民生活や経済活動への打撃は深刻です。

特に、県が新型コロナウイルス感染症への緊急対策として実施していた外出自粛要請や県内飲食店等への営業時間短縮要請等を今月14日に解除し、本格的な経済活動等の再開に向け準備を進めていた矢先であり、市内事業者を始め市民の精神的及び経済的負担は計り知れません。

これらのことから、特に下記の事項を速やかに実現されますよう強く要望いたします。

### 記

- 1 被害状況の早期調査・早期復旧について**  
被害認定調査業務を迅速に行い、早期復旧・早期支援に努めること。
- 2 被災者の生活再建の支援について**  
被災者へ適切な支援を早急に行うこと。  
罹災証明書発行手数料を免除すること。
- 3 被災事業者の支援について**  
被災した事業者に向けた支援策を講じること。
- 4 防災・減災に対する対策について**  
市民の安全・安心の確保を図るために、防災・減災の取組みを更に強化すること。

## 編集後記

去る三月二十八日、安達駅西口広場にて、智恵子像「今、ここから」の除幕式が行われました。新たな観光地として二本松市発展のシンボルとなっていくことを祈ります。

今年は今までになく、桜の開花も早くびっくり。その桜も厳しい冬を経て、美しい花を咲かせるとのことです。

東日本大震災、東京電力の原発事故、続く地震、そして新型コロナウイルス感染症と市民の皆さんにとっても長く苦しい、耐えねばならない時ではありますが、桜のようにその先には、きっと美しい花が咲き、穏やかな日々が待っていると信じています。

「今、ここから」未来へ向けて新しい生活様式の中で、希望と夢が持てる安定した時代へ、皆で力を合わせ、共存共栄できる社会を目指して行きますよ。(安齋)



### 編集委員会 委員長 副委員長 委員

堀籠 新一  
鈴木 一弘  
安齋 政保  
本多 俊昭  
加藤 建也  
佐藤 運喜  
佐久間 好夫